

病院機能の変更に係る整備計画報告書

- 1 病院名：医療法人社団秀栄会 所沢第一病院
- 2 所在地：埼玉県所沢市下安松 1559-1
- 3 開設者：医療法人社団秀栄会 理事長 高橋 秀寿

4 病床数

(1) 当初の計画

変更前：199 床（一般病床 59 床、療養病床 140 床）

（医療機能別内訳：急性期 59 床、慢性期 140 床）

変更後：199 床（一般病床 78 床、療養病床 121 床）

（医療機能別内訳：急性期 42 床、回復期 36 床、慢性期 121 床）

(2) 今回の変更計画

変更前：199 床（一般病床 59 床、療養病床 140 床）

（医療機能別内訳：急性期 59 床、慢性期 140 床）

変更後（1回目）：199 床（一般病床 119 床、療養病床 80 床）

（医療機能別内訳：急性期 119 床、慢性期 80 床）

変更後（2回目）：199 床（一般病床 119 床、療養病床 80 床）

（医療機能別内訳：急性期 83 床、回復期 36 床、慢性期 80 床）

5 スケジュール

	項 目	完了（予定）年月 変更（1回目）	完了（予定）年月 変更（2回目）
1	開設（変更）許可（医療法）	令和 2 年 3 月	令和 2 年 9 月
2	建築（着工）	令和 年 月	令和 1 年 7 月
3	建築（竣工）	令和 年 月	令和 2 年 9 月
4	医療従事者の確保	令和 年 月	令和 年 月
5	使用許可（医療法）	令和 2 年 3 月	令和 2 年 10 月
6	開設（医療機能変更）	令和 2 年 4 月	令和 2 年 11 月

6 整備方針、目標

今回の変更は慢性期病床の一部を段階的に急性期病床及び回復期病床に変更するものです。なお、慢性期病床から回復期病床に変更することについては平成 30 年 9 月に行われた西部地域保健医療・地域医療構想協議会において御説明を行っており、今回はその進め方を変更するとともに慢性期から急性期への機能変更を行うものです。

(1) 当院について

当院は所沢市下安松に昭和 60 年 2 月に開設しました。

当院が位置する地域は、現在タワーマンションを建築するなど周辺の人口が増加している所沢駅と、ミュージアム建設や道路整備で発展途中の東所沢駅の間に位置しており、清瀬市も隣接しております。

現在、急性期病床（一般 59 床）、慢性期病床（療養 140 床）の合計 199 床で運営を行っております。急性期病床は 59 床のうちの 7 割を整形患者が占めています。60 床と 40 床・40 床の 3 病棟で構成する慢性期病床では、人工呼吸器が必要等、医療依存度が高く在宅復帰が困難な患者は 2 病棟 80 床で構成される長期療養病棟を利用し、急性期病床から転床し退院が見込まれる患者は 60 床の病棟を利用しています。

開院当初は現理事長の高橋秀寿が内科を中心とした医療を展開し、ケアミックス病棟の特性を生かして一般病棟から療養病棟へ長期間入院する患者が中心でした。

その後平成 28 年 4 月に糸川牧夫が院長として就任し、整形外科患者を中心に診療を行うことが多くなりました。現在は前述のとおり一般病床に入院する患者の 7 割が整形外科領域の患者であり、手術件数も、H29 年 179 件、H30 年 304 件、H31 年 386 件と年々増加しております。

現時点において整形外科医師を平成 31 年 4 月に 1 名、令和元年 10 月に 1 名採用し、常勤の整形外科医師は 4 名となりました。また常勤麻酔医を令和 2 年 1 月に採用し、その受け手として整形分野において万全な体制を人員的に確保しています。

救急車受入もそのほとんどが整形外科疾患の患者です。救急隊受入要請に際しては整形外科（頭部外傷以外）疾患の方、特にかかりつけ患者はお受けするようにしています。二次救急医療機関である当院の救急医療の過去 3 年間の状況は次のとおりですが、問い合わせ増加に伴い受け入れを行えない事案も増えてきています。

①救急問い合わせ件数と受け入れ件数

	救急 問い合わせ件数	救急受入件数 (うち入院)	受け入れを行えな かった件数
H 2 9 年	440 件	434 件 (233 件)	6 件
H 3 0 年	681 件	658 件 (373 件)	23 件
H 3 1 年	881 件	793 件 (393 件)	88 件

②救急受入患者に占める整形外科の状況

	救急受入件数	うち整形外科	整形外科が占める割合
H29年	434件	328件	75.5%
H30年	658件	476件	72.3%
H31年	793件	606件	76.4%

一方で、いわゆる逆紹介率もH29年15%、H30年16.7%、H31年18.5%と増加傾向にあります。

(2) 増築と地域包括ケア病棟整備について

現在当院では令和2年11月の利用開始を目指し建物の増築を行っております。

病院が担うべき医療機能として、急性期病院において急性期を脱した患者の転院先及び在宅・介護施設等からの患者の緊急入院先となる回復期病床が不足している現状があります。当院もそれに対応するため、新たな建物には回復期である地域包括ケア病棟を開設する予定です。

平成30年9月に行われた西部地域保健医療・地域医療構想協議会において御説明をしたとおり、新しい建物には一般病棟59床のうち17床を、慢性期病床140床のうち19床を、地域包括ケア病棟に転換することを予定していたところです。

新たな建物には手術室を2室新設します。これにより、既存建物を含めた療養環境の向上に加え今まで以上の手術件数も見込まれます。

(3) 計画変更の内容等

今回の変更は2次に分けて行い、その内容は次のとおりです。

①第一次の計画概要

まず、第一次の変更として令和2年4月を目途に療養病床140床のうち60床を一般病床に変更し、一般病床（急性期病床）119床、療養病床（慢性期病床）80床とします。

今回の第一次変更計画の対象となる本館2階療養病棟は、現状で急性期相当又は回復期相当の患者が含まれており、療養病棟（慢性期病床）というより一般病床に近い形となっています。在院日数もH29年146.4日、H30年100.8日、H31年65.4日と年々短縮してきています。このため、慢性期病床を急性期病床に変更し現況に合わせることにします。これにより、やむなく本館2階療養病棟に入院していた比較的在院日数の長い圧迫骨折等の患者や、増加する救急患者への対応に資することが見込まれます。

②第二次の計画概要

その後、新棟が完成する令和2年11月を目途に急性期病床119床のうち36床を新棟に移設し、回復期病床（地域包括ケア病棟）に変更します。この結果、急性期病床83床（一般病床）、回復期病床36床（一般病床）、慢性期病床80床（療養病床）とします。

第二次変更計画で設置する回復期病床（地域包括ケア病棟）は、次のとおり運営する予定であり、ポストアキュートとサブアキュートの両方の機能を見込みます。

【開設時】

- 高度急性期・急性期病院からの受け入れ：3～4割程度
- 自院急性期からの受け入れ：4～5割程度
- 在宅、施設からの受け入れ：2～3割程度

【将来】

- 自院完結のポストアキュートの割合をできる限り少なくし、クリニックや施設からの紹介患者を必ず受ける病棟にしていきたい。

地域包括ケア病棟を併設することで院内において急性期、回復期、慢性期と病床機能が概ね整い、患者の状態に応じた最適な病床での治療を行えるようになることから、さらなる地域連携の促進を担うことができるようになるものと考えます。

（4）変更に伴い生じる効果について

前述のとおり、変更予定の慢性期病床の一部には現在は急性期・回復期相当の患者が含まれており、現状に合わせた病棟機能とすることで、より適切に患者への対応が可能になるものと考えます。

それは地域に密着した医療を提供することにもつながります。当院の主な患者は所沢市及び隣接する清瀬市の住民です。国立社会保障・人口問題研究所が公表する「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」によると、所沢市及び清瀬市の2025年の75歳以上の人口推計は次のとおりであり、2015年の約1.57倍と予想されています。

	2015年	2025年	2015年を100としたときの指数
所沢市	37,735人	62,213人	164.9
清瀬市	10,872人	14,131人	130.0
合計	48,607人	76,344人	157.1

高齢者の増加に伴い骨折の増加も予想されます。当院の現状の一般病床の病床利用率は79.1%と必ずしも高くはありませんが、今回の計画変更及び新棟建設に伴い病床機能が増えるとともに療養環境が向上することから、地域のニーズに応えることができるものと考えています。

また、地域包括ケア病棟開設により周辺のクリニックや施設の紹介も増加するものと考えております。治療をして在宅復帰するという自然な流れを、病床機能変更を通じて実現できると思います。

そして、これまで以上に周辺の病院、クリニック、施設との密なる連携を基礎とし、地域に必要とされる、愛し愛される病院づくりをめざしていきたいと思っております。

7 変更前の病院機能の概要 (平均在院日数 R1. 9~11、病床利用率 H30. 12~R1. 11)

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館 3 階病棟	59 床	急性期	17 日	79.1%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院基本料 2	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館 2 階病棟	60 床	慢性期	65.4 日	84.8%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館 2 階病棟	40 床	慢性期	174.6 日	85.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
新館 3 階病棟	40 床	慢性期	125.6 日	82.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
診療科目				
整形外科 内科 外科 皮膚科 形成外科 乳腺外科 婦人科 精神科 リハビリテーション科 麻酔科				
診療実績 (平 31 年 1 月~令和元年 12 月)				
○手術の実施状況				
整形外科手術 (大腿骨、股関節、膝関節の骨折) 364 件 (その他) 22 件				
○がん・脳卒中・心筋梗塞への治療状況				
がんについては疼痛管理、脳卒中・心筋梗塞については一時診断のみで治療は行っておりません。				
○重症患者の治療状況				
重症患者については第三次救急の病院等へ紹介しています。				
○救急医療の実施状況				
二次救急医療機関として救急車受入 793 件/年 (平成 31 年 1 月~令和元年 12 月)				
○在宅復帰への支援状況				
社会福祉士をもつ相談員や看護師が入院から在宅への退院までを支援しています。				

患者の受入状況 年間新入院患者数 1081 人（平成 30 年 12 月～令和元年 11 月）

【 高度急性期・急性期病院、自院 】

防衛医科大学校病院	32 件 (2.9%)
所沢中央病院	86 件 (7.9%)
埼玉石心会病院	12 件 (1.1%)
所沢明生病院	21 件 (1.9%)
東京病院	20 件 (1.8%)
複十字病院	15 件 (1.3%)
豊岡整形外科病院	7 件 (0.6%)
多摩北部医療センター	18 件 (1.6%)
明生リハビリテーション病院	9 件 (0.8%)
災害医療センター（立川）	5 件 (0.4%)
織本病院	6 件 (0.5%)
その他 57 医療機関	108 件 (9.9%)
自院（外来・救急）	699 件 (64.6%)

【 診療所、介護施設 】

秋津ほそがい整形外科	7 件 (0.6%)
わかさクリニック	10 件 (0.9%)
花園整形外科	6 件 (0.5%)
その他クリニック	20 件 (1.8%)

8 変更後の病院機能の概要（1回目）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館 3 階病棟	59 床	急性期	22 日	81.9%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 3	
本館 2 階病棟	60 床	急性期	60 日	81.9%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料 3	
新館 2 階病棟	40 床	慢性期	174.6 日	85.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	
新館 3 階病棟	40 床	慢性期	125.6 日	82.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料 1	

変更後の病院機能の概要（2回目）

病棟名	病床数	病床機能報告区分	平均在院日数	病床利用率
本館3階病棟	43床	急性期	30日	82%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料3	
本館2階病棟	40床	急性期	30日	82%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域一般入院料3	
新棟3階病棟	36床	回復期	45日	85%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	地域包括ケア病棟2	
新館2階病棟	40床	慢性期	174.6日	85.6%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料1	
新館3階病棟	40床	慢性期	125.6日	82.3%
	一般/療養	入院基本料・特定入院料	療養病棟入院基本料1	

医療（介護）連携見込み

○紹介元・紹介先

〔 医療機関 〕

防衛医科大学校病院

所沢中央病院

埼玉石心会病院

所沢明生病院

東京病院

複十字病院

豊岡整形外科病院

多摩北部医療センター

明生リハビリテーション病院

災害医療センター（立川）

一橋病院

川満外科病院

織本病院

日本大学板橋病院

埼玉西協同病院

埼玉医科大学国際医療センター

秋津ほそがい整形外科

水野内科クリニック

わかさクリニック

ほさか内科クリニック

なかむら整形外科

花園整形外科

〔 介護施設 〕

かがやきの里

はるびの郷

狭山博愛

清雅苑

ファインケアガーデン清瀬

9 医療従事者

職種	現在の人員（人）			確保予定の人員（人）		
	常勤	非常勤		常勤	非常勤	
		実人数	常勤換算		実人数	常勤換算
医師	9	43	5.8	2	9	1.8
看護師	40	30	14.7	5	5	2.5
介護職員	25	22	12.5	5	3	1.5
その他	42	26	13	3	0	0
計	116	121	46	15	17	8.5

人員確保状況・確保策、確保スケジュール

昨年より地域包括ケア病棟開設に向け職員採用を積極的に行っており、順調に人員を確保している状況です。医師は4名の増員、看護師は昨年度に比べ14名増員しております。今回、一般病棟を59床から119床に変更するための人員は、現状では充足しておりますが、将来的には医師2名、看護師5名等ホームページや求人広告、紹介会社を併用して各職種（特に介護職員）を増員していく方針です。

職員からの推薦や知人の紹介等幅広く募集し、また全職種における院長との直接面接等、当院にとって重要な人材を漏らさず採用していきたいと考えております。

10 その他

整形外科医師は常勤医師4名と充足しつつありますが、今後は内科医師も充足させ、地域医療における身近な病院としての立ち位置を明確にしていきたいと考えております。